

議長と報道各社とのティー・ミーティング(懇談会)が行われました(H29. 3. 21)

第1回定例会中の平成29年3月21日(火)に、遠藤議長と報道各社とのティー・ミーティング(懇親会)が議長室で行われました。

初めに、遠藤議長から、日ロ首脳会談後の北方領土問題、(議長就任後の)これまでを振り返ってについて、話題提供がありました。

その後、報道各社と議長による質疑応答に入り、議会議論の活性化、JR問題への対応などについて、議長から説明などを行いました。

なお、議長からの話題提供の概要は、次のとおりです。

【日ロ首脳会談後の北方領土問題について】

昨年12月の日ロ首脳会談について、これまで動かなかった北方領土問題に新たな展開があったという意味では、私は、画期的な会談だったと考えています。

この会談で合意した「北方四島における共同経済活動」の内容については、3月7日に地元根室管内の首長や漁協の組合長さんなどから道議会に要請がありました。その後、3月15日に知事が国に対して要望を行い、3月18日には日ロ次官級協議が開催されました。

日ロの間でこのように物事が進んでいくことについては歓迎しつつも、元島民の皆さんからは島の現状に対する意見や元島民としての権利を守ってほしいという意向もあり、まだまだ大きな問題が残っていると感じています。そういう意味では、今後、いわゆる特別な制度がどういう形でつくられていくのかについて、これからも注視していく必要があります。

道議会には北方領土問題に関し特別委員会がありますので、後期の委員会においても引き続きしっかり議論してもらいたいと思います。

【(議長就任後の)これまでを振り返って】

議長としての2年間を振り返りますと、議員の提案能力を高め、議会議論の質を向上させたいという思いから、政策立案機能の充実・強化ということに最も力を入れて取り組んできました。

昨年2月に国立国会図書館の課長を招き、質問するときの情報収集の方法等について、同年9月には龍谷大学の教授を招き、質問力を高めるための方法等について、それぞれ議会全体で議員研修会を開催しました。

また、札幌大学との包括連携協定を今年1月に締結し、早速2月に北海道の歴史を研究されている桑原学長に議会で記念講演をしていただきました。

私の任期中に、「北海道飲酒運転の根絶に関する条例」や、最終日に可決になると思いますが、「北海道みんなの日条例」という2本の議員提案条例をつくっていただいたのはありがたいことであり、携わった方々に敬意を表したいと思います。

今、北海道は国際化に力を入れて取り組んでいます。私も、8つの地域(国としては7つ)に行ってまいりました。

一昨年は、10月に道産品のPRでイタリアのミラノ博、姉妹提携25周年の行事でアメリカ・マサチューセッツ州、35周年でカナダ・アルバータ州、昨年1月には友好協力協定の調印式に参加するため、韓国・済州特別自治道、北海道ASEAN事務所の開設記念でシンガポール、5月に議会同士の交流でロシア・サハリン州、10月に来年度の友好提携に向けてアメリカ・ハワイ州、11月には友好提携30周年の行事で中国・黒竜江省を訪問させていただきました。

交流訪問とは、顔見知りの人とまた会うことができる、ということなんだと改めて実感し、人間関係をつくっていくことは、非常に大事だということを感じました。

